

| | |
|---|--|
| <p>【技術の名称】 J-BOLBAR (ジェイボルバー) 工法 -鋼管杭および場所打ち鋼管コンクリート杭と基礎フーチングの接合法-</p> | <p>性能証明番号：GBRC 性能証明 第07-14号 性能証明発効日：2007年9月4日</p> <p>【取得者】 JFE スチール株式会社</p> |
|---|--|

【技術の概要】

本技術は、鋼管杭および場所打ち鋼管コンクリート杭と基礎フーチングとの接合法である。本工法では、接合部材と称する部位の一端を異形鉄筋に圧着接合し、扁平に加工した他端のボルト孔と杭頭部の鋼管周囲に設けたボルト孔に高力ボルトを貫通させて、接合部材と杭鋼管を接合する。また、異形鉄筋を基礎フーチングのコンクリートに定着することによって杭鋼管と基礎フーチングが結合される。接合部材は、JIS G 3445 の規格に適合するシームレス炭素鋼管を加工したものであり、異形鉄筋との圧着接合は、(財)日本建築センターにおいて A 級継手として評価 (BCJ-C1907(追 1)) を取得した機械式鉄筋継手 (FD グリップ) の技術を応用したものである。

【技術開発の趣旨】

従来、鋼管杭において基礎フーチングに定着される異形鉄筋は、現場で杭鋼管とフレア溶接によって接合されることが多い。この現場溶接の施工品質上の問題を解消することを意図し、本工法は開発されている。

【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。

申込者提案の設計指針に従って設計した異形鉄筋に圧着接合された接合部材と杭鋼管との接合部は、鉄筋母材の規格引張強さの荷重を受けても損傷しない性能を有し、かつ、同設計指針に従って設計した杭鋼管と基礎フーチングの接合部は、設計で保証すべき長期荷重時、短期荷重時および終局耐力時の要求性能を満足すると判断される。

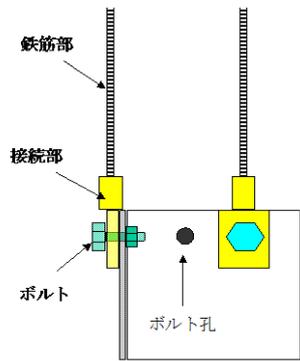


図-1 ボルト接合方式



図-2 鉄筋取付け部



図-3 ボルト接合鉄筋部材

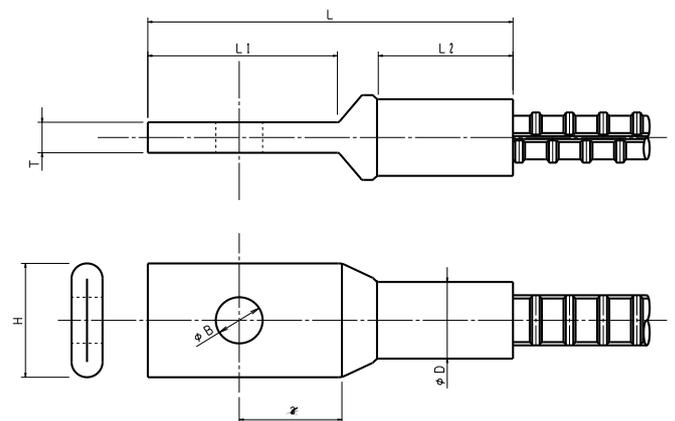


図-4 接合部材の寸法表

| 呼び名 | 全長 L | 平坦部 L1 | 圧着長 L2 | 平坦部 t3 | 平坦部幅 H | 平坦部厚 T | ボルト穴径 φ B | 圧着径 φ D | 使用 ボルト径 |
|------|---------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|--------------|------------|------------|
| D25 | 211 | 115 | 70 | 65 | 64.5 | 18 | 28 | 42 | M27 |
| D29 | 230 | 121 | 82 | 65 | 72.0 | 20 | 31 | 47 | M30 |
| D32 | 253 | 126 | 90 | 65 | 81.0 | 22 | 34 | 52 | M33 |
| D35R | 250 | 133 | 75 | 65 | 87.5 | 24 | 37 | 56 | M36 |
| D38R | 260 | 139 | 75 | 65 | 98.0 | 26 | 40 | 61 | M39 |

【本技術の問合せ先】

JFE スチール株式会社 担当者：市川和臣 E-mail：k-ichikawa@jfe-steel.co.jp
 〒100-0011 東京都千代田区内幸町 2-2-3 日比谷国際ビル TEL：03-3597-4488 FAX：03-3597-4530